



えほんの紹介

『 もりのかくれんぼう 』

末吉 暁子 さく 林 明子 え 偕成社

かくれんぼの大好きなけいこ。ある日おうちに帰ろうとして、いけがきを通りぬけたら大きな森の入口に立っていました。金色にけむったような秋の森です。

森の中には「もりのかくれんぼう」という男の子が立っていました。男の子が「かくれんぼするもの よっといで！」というと、森中の動物たちが集まってきて、金色の森の中でかくれんぼが始まりました。けいこもくまやりすやきつね、そしてもっとたくさんの動物たちとかくれんぼを楽しみました。

秋色につつまれた絵本です。金色の葉っぱの中にどんな動物たちがいるのか探すのも楽しいです。



もりのかくれんぼう

小さなおともだち “ワイルドだぜ～”

Sくんは3歳。付添いがママからパパに替って4カ月。男同士のつき合いはSくんをよりワイルドにしてくれました。

パパから輪ゴム飛ばしで顔に当てられても平気です(もちろん軽くです)。プレイルームで看護師さんが脇を通りちよっとぶつかり「ごめんね」と言われた時は、「ふむなよー」とちやんと言えます。だれかが痰がからんで咳をした時は「だいじょうぶ？」と言ってくれます。「心配してくれてありがとう」というと、「うるさいからだよ」と一言加えることもできます。変顔もすごく上手になりました。どう? いい感じでワイルドになったでしょう?



変顔をするSくん

(注: パパはとても紳士的な方です)

季節のわらべうた

♪
きーりす ちよん
きーりす ちよん
きーりす ちよん
あほらしにとられて
あほらしにとられて



『 かちかちやま 』

小澤俊夫 / 再話 赤羽末吉 / 画 福音館書店

日本の代表的な昔ばなしの一つです。

たぬきに殺されたばあさまの仇をとるために、うさぎは次々とたぬきに仕返しを考えだします。背中に火をつけたり、やけどにとうがらしをぬりこんだり…。とうとうたぬきは泥の舟もろとも川に沈んでしまいます。

「うさぎどん、うさぎどん。かちかちいうのはなんのおとかな」

「このあたりはかちかちやま。かちかちどりのなきごえさ」

うさぎとたぬきのかげ合いは耳に心地よく、ユーモアもあります。

赤羽末吉の絵は、背景に美しい自然が描かれていて、茅の原の場面ではさやさやと風の音が聞こえてきそうですし、たぬきの背中で赤く燃える火は迫力があります。うさぎの知的でクールな顔と、たぬきのまぬけで仕返しされるたびに見せる情けない顔が対照的です。



かちかちやま

「おさるのじょーじ」クイズ

絵本を見ながら答えを見つけてね。

- Q1. じょーじが友だちのびるからもらったものは? 『たこあげのひとまねさる』
①こうさぎ ② つりざお ③たこ
- Q2. じょーじのお腹のレントゲンに写っていたのは? 『ひとまねさるびょういんへんく』
①さかなの骨 ② まめ ③はめ絵
- Q3. じょーじが新聞紙で作ったのは? 『じてんしゃのりひとまねさる』
①ふね ② ひこうき ③ いえ
- Q4. じょーじはどうやって空を飛べたかな? 『ひとまねさるときらいぼうし』
①鳥になった ②風船を持った ③ヘリコプターに乗った
- Q5. じょーじの高いベルの仕事は? 『ひとまねさる』
①エレベーター係 ②ペンキぬり ③窓のガラスふき

㊦㊧ ㊨㊩ ㊪㊫ ㊬㊭ ㊮㊯ ㊰㊱

(遊び方)
子どもたちは秋の草むらさを、キリギリスのようにひよんぴよん跳ねながら歌います。子どもにつかまったバッタのくやしそうなつぶやきが聞こえてくるようです。